

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育課程の再編成と実施方針に基づき、各コースの教育内容の特質に応じた体系的な学習に導く授業科目を開設し配置する。	→教育課程表の見直しと規程の改正	B
2. 初年時教育を強化し、履修基準年度を見直し、履修単位数制限を強化し、教育効果の向上を図る。	→必修科目の増加数、履修基準年度の見直し数、商学演習の履修率の変化、研究演習の開講数と所属率	B
3. 産業界との連携により実践的教育方法を導入し活用する。	→該当する科目・クラス数および履修者人数	B
4. マルチメディアを活用した教育の強化を図る。	→該当する科目・クラス数および履修者人数	B
5. 外国語教育と専門教育に関する学力の保証を図る。	→TOEICの平均点、各専門科目の合格率と平均点、日商簿記検定をはじめ各種検定試験の合格率など	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

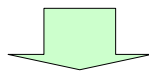
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在、教育課程、カリキュラムの改正作業を進めている。上記の諸課題については、その作業の中で検討中である。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在進めている教育課程等の改正作業の中で検討中である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	2010年度入学生より、ワンセメスターあたりの履修単位数制限を強化したことにより、学生の体系的学習が促進されることが期待される。
☆ 小項目6.2.2	
その他	



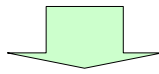
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
☆ 小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

- 「目標」2、3、4は、次項の6.3「教育方法」に配置するほうが適切ではないでしょうか。
- 「目標」1、3や「現状説明」の記述は抽象的で、第三者には具体的な教育内容がわかりにくいものになっています。
- 履修単位数上限が引き下げられたことは評価できますが、具体的な数字を挙げておくことが望まれます。

【学内委員】

- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。このままでは、現状がまったくわかりません。
- 効果が上がっている事項において「～促進されることが期待される」とありますが、実際に効果が上がっているものをお書きください。
- 目標がかけられています。改善すべき事項があるのではないのでしょうか。
- 本項目についても、現在改編作業中であると理解しています。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ☆ 2010年度入学生よりワンセメスターあたりの履修制限単位数を24単位から22単位に引き下げ、同時にGPA3.0以上の学生については4単位増を認めるインセンティブシステムを導入している。

V. 本項目の評価指標

＜全学的な指標＞

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

＜個別的な指標＞
